高齢期にかかりやすい 病気に気をつけよう

高齢期ならではの病気の現れ方に注意が必要

高齢期になると、年齢や個人差もありますが、若いころに比べて心身機能や免疫機能が低下するために、 病気にかかりやすくなります。高齢期の病気には以下のような特徴があります。

変調に気づいたら早めにかかりつけ医に受診しましょう。また、症状を自覚しにくいので、年に一度は 健康診断を受けて、健康を維持していくことが大切です。

はっきりとした症状が出ない

症状が現れにく かったり、型どお りに現れないこと があるため、自分 で気づかないこと があります。



長期化しやすい

若いころと比べ て回復力が低下し ているため、病気 が長期化しやすく なります。



合併症を引き起こしやすい

ひとつの病気が 他の病気にも影響 したり、いろいろ な合併症を招くこ とがあります。



急変しやすい

はっきりとした 症状が現れていな くても、急に重篤 な状態になる場合 があります。



上位 10 位でみる 高齢者(65 歳以上)に多い病気とは?

傷病別通院者率(人口千対・複数回答)

※令和4年国民生活基礎調査をもとに作成

高血圧症		313
眼の病気	133	
脂質異常症	130	
糖尿病	119	高齢者がかかりやす
腰痛症	98	い病気を知っておく
前立腺肥大症	89	ことも、予防や早期
歯の病気	84	発見につながります
骨粗しょう症	58	
その他の循環器系の病気	47	
狭心症・心筋梗塞	45	